

## ◆奨励賞◆

### なぜ、つづけるのか

中原 中学校 三年

角野 恵人

つらい。きつい。もうやめたい。今まで数えきれないほど思った。普段、そう思ったらすぐやめてしまうが、なぜか最後までやりきることができた。

僕はつい先日、中学校での長い長い部活動がおわった。僕はサッカー部に所属していた。練習はもちろんつらいし、きつい。練習前にタイムを測って三キロか五キロ走ることもある。うちの部活はクラブチーム兼部活で、土曜日、日曜日のオフは基本的に無い。月に二回あったら部活仲間と予定表をもってはしゃぐレベル。そして、オフの二日前くらいに練習が入って絶望するといふながれ。今考えるとほんとになんでやりきれたかわからない。

僕のポジションはセンターバックだった。僕は守備のこのポジションが好きだが、とあることがきらいだった。それは、責任だ。オフフェンスは正直な話、何回失敗したって許される。たとえ何回失敗しようが一本成功すればオフフェンスはヒーローだ。しかし、ディフェンスは違う。たとえ、何本チームの危機を救おうが一本のミスで今までの成功がうちけされる。あたりまえのことだが、とても理不尽だと思う。それに加え、もんくを言うてくるやつもいる。「文句言うならちゃんと言え。」や「お前らがボールをとられなきゃ攻められることもない。」と何度も思った。

ここまで、つらい。きつい。もうやめたい。の原因を書いた。では、な

ぜつづけられたのか。理由は主に三つある。一つ目は仲間がいたからだ。ともに戦う仲間がいたことで最後までやりきれた。二つ目は結果がついてきたからだ。どれだけ頑張っても結果がついてこなきゃやる気もでない。僕たちは冬も夏も県大会に出場することができた。仲間とともに苦しい練習をのりこえたことがむくわれた気がした。三つ目はやる気が、やめたいと思っても、そんな事おこまいなしに、時々楽しいがやって来てしまい、楽しいがやる気をださせるから。サッカーは最高に面白いと時々思う時が来て、やめられない。

こんな理由から僕はサッカーをつづける。高校でもサッカーをやる。そして、またきつい。しんどい。やめたい。となると思う。しかし、時々来る楽しさで僕はサッカーをやめられず、つづけてしまうのだろう。